

ライトブラウンの成績表です。

平成29年 7月11日

有限会社日本光材様

家庭用品品質表示法に基づく「紫外線透過率」「可視光線透過率」、日本工業規格(JIS T 8141:2016)に基づく「近赤外透過率(780 nm~1,300 nm)」及び日本工業規格(JIS T 7333:2005)の附属書Cに基づく「青色光ハザード」の各試験結果は、以下の通りでした。

また、「参考」として、「旧・英国規格(BS 2724:1987)に基づく青色光(ブルーライト)領域平均透過率」を計測した試験結果は、以下の通りでした。

(1) 家庭用品品質表示法に基づく「紫外線透過率」及び「可視光線透過率」

サンプル		紫外線透過率		可視光線透過率
		313 nm	365 nm	(A標準光)
加工済み ブラ・ライトブラウンレンズ (老眼小玉付き/S+1.50 D、t2.1mmx6R)	No.無し (ライトブラウン-6カーブ /老眼小玉付きレンズ)	0.00 %	0.00 %	72.4 %
アンカット ブラ・ライトブラウン サングラスレンズ (曇り止め、Φ73mmxt1.9mmx6R)	No.無し (ライトブラウン-曇り止めレンズ)	0.00 %	0.00 %	78.9 %

(2) 日本工業規格(JIS T 8141:2016)に基づく「近赤外透過率(780 nm~1,300 nm)」

サンプル		近赤外透過率 (780 nm~1,300 nm)
加工済み ブラ・ライトブラウンレンズ (老眼小玉付き/S+1.50 D、t2.1mmx6R)	No.無し (ライトブラウン-6カーブ /老眼小玉付きレンズ)	91.4 %
アンカット ブラ・ライトブラウン サングラスレンズ (曇り止め、Φ73mmxt1.9mmx6R)	No.無し (ライトブラウン-曇り止めレンズ)	86.8 %

紫外線の透過率が0%なので、カット率は100%です。  
表示は99%以上または99.9%以上となります。

(3) 日本工業規格(JIS T 7333:2005)の附属書Cに基づく「青色光ハザード」

サンプル		試験結果
加工済み ブラ・ライトブラウンレンズ (老眼小玉付き/S+1.50 D、t2.1mmx6R)	No.無し (ライトブラウン-6カーブ /老眼小玉付きレンズ)	58.2 %
アンカット ブラ・ライトブラウン サングラスレンズ (曇り止め、Φ73mmxt1.9mmx6R)	No.無し (ライトブラウン-曇り止めレンズ)	66.3 %

———— 次 頁 へ 続 く ————

ブルー光線の透過率が66.3%なのでカット率は33.7%となります。

(前頁の続き)

(4) (参考) 旧・英国規格(BS 2724:1987) : B.4 項—青色光(ブルーライト)領域平均透過率  
(Determination of mean blue range transmittance)

サンプル	試験結果
加工済み ブラ・ライトブラウンレンズ (老眼小玉付き/S+1.50 D、t2.1mmx6R)	No. 無し (ライトブラウン-6カーブ /老眼小玉付きレンズ) 43.5 %
アンカット ブラ・ライトブラウン サングラスレンズ (曇り止め、Φ73mmx t1.9mmx6R)	No. 無し (ライトブラウン-曇り止めレンズ) 49.5 %

備考: No. F00458(平成29年07月11日)

上記結果は、提出されたサンプルの「紫外線透過率」及び「可視光線透過率」について、家庭用品品質表示法に、「近赤外透過率 (780 nm～1,300 nm)」について、日本工業規格(JIS T 8141:2016)に、「青色光ハザード」を、日本工業規格(JIS T 7333:2005)の附属書Cに、各々定められた方法により、サンプルの内、「ライトブラウン-6カーブ/老眼小玉付きレンズ」は、「度無し部分の幾何学中心部の近傍部分」について、「ライトブラウン-曇り止めレンズ」は、「幾何学中心部に当たる部分」について、各々試験を実施したものです。

「参考」のため、「旧・英国規格(BS 2724:1987)に基づく青色光(ブルーライト)領域平均透過率」についても計測しております。

試験の結果、「紫外線透過率」は、「313 nm」及び「365 nm」ともに「0.00 %」、「可視光線透過率」は「72.4 %～78.9 %の範囲」と、「近赤外透過率 (780 nm～1,300 nm)」は、「86.8 %～91.4 %の範囲」と、「青色光ハザード」は、「58.2 %～66.3 %の範囲」と、各々計測されています。

また、「参考」として計測した「旧・英国規格(BS 2724:1987)に基づく青色光(ブルーライト)領域平均透過率」は、「43.5 %～49.5 %の範囲」と、各々計測されています。

ただし、前述の「旧・英国規格(BS 2724:1987)」は、現状では、「廃止」となっているため、この規格の計測結果を採用して販売する場合には、「旧・英国規格(BS 2724:1987)に基づく計測結果である。」旨の表示をし、販売することを推奨致します。

前述の各計測値は、「透過率」であり、「カット率」では無いため、ご注意をお願い致します。

参考のため、分光チャートを添付しています。

なお、提出されたサンプル以外の「販売予定の全サンプル」の「紫外線透過率(365 nm)」や「可視光線透過率」「近赤外透過率 (780 nm～1,300 nm)」等を表示する際には、「バラツキを考慮した検証を貴社内で確認」して販売商品の表示をするようにし、また、例えば、「青色光(ブルーライト)カット率」を表示する場合には、「消費者保護」を考慮し、「バラツキを考慮した検証を貴社内で確認」した上で、「約X X%カット」では無く、「XX%以上カット」と、「最少値以上のカット率」を表示することを推奨致します。

福井県鯖江市新横江2丁目3番4号めがね会館5階  
一般財団法人 日本眼鏡普及光学器検査協会(J S O I)  
(担当: 高橋)   
TEL (0778) 52-5688  
FAX (0778) 53-0269



NK-LBRFG

依頼者名：有限会社 日本光材

サンプル：アンカット プラ・ライトブラウン サングラスレンズ（曇り止め,  $\phi 73\text{mm} \times t1.9\text{mm} \times 6\text{R}$ ） No.無し（ライトブラウン-曇り止めレンズ）

測定日：平成29年07月11日

測定機器：分光光度計（島津製作所 UV-3100PC）

一般財団法人 日本眼鏡普及光学器検査協会

